

平成 22 年 10 月 28 日  
筑波大学

## 先端学際領域研究センターから 生命領域学際研究センターへ

このたび、筑波大学では先端学際領域研究センターを生命領域学際研究センターへ改組し、新たな学際拠点の形成を目指すこととなりました。

### 【経緯】

- ・平成 6 年 省令組織として先端学際領域研究センターがスタート

#### [目的]

① 産・官・学の連携、学際領域における最先端研究の推進、基礎研究の活性化

② 学内研究の活性化

科学技術基本法がカバーする四領域（生命、物質科学、ナノテクノロジー、環境）を含む研究プロジェクトがスタート

#### [成果]

① 産・官・学の連携、学際領域における最先端研究の推進、基礎研究の活性化

**ERATO、CREST、21 世紀 COE、新学術領域、ターゲットタンパク** 等の成果

② 学内研究の活性化

学内教員の 58 の TARA プロジェクト支援

→ (TARA プロジェクト関連) 109 名の**若手教員** (ほぼ 1/3 が学内、1/3 他大学へ、1/3 が海外・民間へ) の育成

#### [外部評価]

・平成 12 年 (委員長 遠藤 實先生、埼玉医科大学副学長[当時])

・平成 21 年 (委員長、学習院大学・花岡文雄教授、[含む 4 名外国人委員])

◎ともに、高い総合評価

### 【改組の理由】

TARA センターでは、時空間生命制御、生命情報機能、総合人間科学、新物質創製、ナノロジー、マルチメディア情報の研究アспектを中心に、各アспектにおいて独自の研究を発展して参りました。特に、生命系は TARA プロジェクトと深く連携して、国際的に高く評価される共同研究が展開されると共に、生命系と物質系の融合研究も深化しつつあります。現在、「いのち」をキーワードにした融合研究分野の開拓は、欧米においても最も注目されている大きな潮流ではありますが、「**生命**」から「**いのち**」に関わる諸研究課題への展開を思量する時期を迎えつつあります。以上のような成果を背景に、次のタームでは、最先端の生命科学研究を推進すると共に、多様な学問分野との融合を図りつつ、新しい学際研究の拠点形成を目指していきたいと考えています。

### 【生命領域学際研究センターの発足】

- ・平成 22 年 10 月 1 日 発足  
センター長・浅島 誠 教授

問合せ先 : 生命領域学際研究 (TARA) センター

TEL : 029-853-6083

## 詳細

**ERATO** 山本雅之教授：環境応答の分子メカニズムの解明  
**CREST** 寅市和男教授：フルーエンシー理論の確立と産業応用  
**21世紀COE** 深水昭吉教授：複合生物系と農学的高度利用  
**新学術領域** 赤坂 健教授：高次 $\pi$ 空間の創発と機能開  
**ターゲットタンパク研究プログラム** 柳澤 純 教授：核内受容体と創薬

等